

国立病院等での明細書発行状況について

1. 国立病院等での明細書発行状況について

- (1) 国立高度専門医療センター（ナショナルセンター）での発行状況（8病院）
全ての施設において、患者の求めの有無にかかわらず、入院・外来ともに全患者に無料発行
（※DPCの投薬・検査の項目についても記載）

- (2) 国立病院機構での発行状況（145病院）
方針：国立病院機構全病院において、患者の求めにかかわらず全患者に対して無料で発行する方針。

現状：平成22年1月現在での状況は以下のとおり。

- ・入院、外来ともに発行 16病院
- ・外来のみ発行 2病院
- ・年度内実施予定
 - 入院・外来ともに発行 9病院
 - 入院のみ発行 1病院
- ・平成22年度実施予定 45病院
- ・平成23年度以降実施予定 72病院

※年度内実施も含め、予定であり変動はあり得る。

2. 全患者への発行による問題点の有無

- (1) 国立高度医療センター
医政局政策医療課によれば、全てのケースを把握しているわけではないが、患者への告知やプライバシーの観点から実際に問題になったケースの報告は受けていないとのこと。

- (2) 国立病院機構
国立病院機構本部によれば、全てのケースを把握しているわけではないが、患者への告知やプライバシーの観点から実際に問題になったケースの報告は受けていないとのこと。

なお、国立病院機構本部では、病名の告知については、会計時において病名を知り得ることが考えられることから、特に悪性腫瘍等の患者で非告知の場合は、患者の家族等に本取り組みを行うことの周知徹底を図るなどの配慮が必要という旨の注意喚起を各病院に対して行っている。